

sakurajuji

## DX化支援研修サービス

ChatGPTの基礎知識から動画作成の実践スキルまで  
まるごと身に付く

# AIによる効率化の実現

## ChatGPT業務活用編



デジタル技術で人々の生活をより豊かなものへ。

sakurajuji

## 目的

企業の「DX化推進」を支援し、企業の持続的な成長と競争優位性の確保をお手伝いいたします。

桜十字ホールディングスの研修サービスは、ChatGPT等のテキスト系生成AIの研修に留まらず、画像生成や動画生成、それらの素材を編集するためのAI技術を学ぶことができるカリキュラムです。

ChatGPT業務活用編は、生成AIを「知っている」状態から「現場で使いこなせる」状態へと引き上げることを目指した研修です。日々の業務でChatGPTを迷わず活用できる土台と、成果につなげるための基本的な進め方を身につけ、ChatGPTを実務に活かせる力を養います。

あわせて、進化を続ける生成AIの特性や、入力したデータの扱い（生成物の権利や侵害リスク、画像利用時の注意点）について再確認することで、ChatGPTを「よりよき相談相手、相棒」として活用するための実践力を習得します。

人材の育成こそが、真の企業のDX化を実現する原動力です。従業員一人ひとりがDXの推進者となる時、企業の競争力は飛躍的に高まります。DX化推進の鍵は「技術」ではなく、「人」にあります。

映像制作編

業務効率化編

ChatGPT活用編





「ChatGPT業務活用編」は、ChatGPTを「正解を出す道具」ではなく、自分の考えを整理し、対話を通じて質を高める「相棒」として使いこなす力を身につける研修プログラムです。

現場の記録、利用者への説明、資料作成、新企画の立案など、日常業務の具体的な場면을題材にロールプレイ形式で「対応の型」を学びます。


合計約12時間のストーリーを通じて、実務にすぐ活かせるChatGPT活用のヒントを楽しく学べます。

# AIの力で課題を解決する「ストーリー」

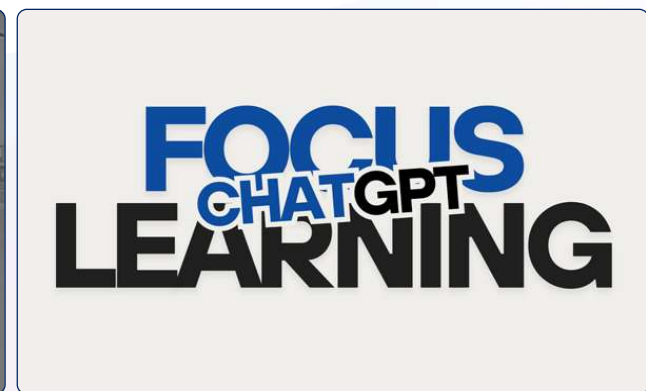
介護現場で起きがちな「記録」「家族説明」「申し送り」「資料作成」「クレーム対応」などを題材にストーリー形式（ケーススタディ）で、ChatGPTの業務活用について学びます。

AIワークフロー	AIエージェント
人が作ったルールの上を走る	ゴールに合わせて動きを変える
	
例：申請処理・定型報告書作成等	例：問い合わせ対応・個別提案等
AIワークフロー：やり方が決まっている業務向け	AIエージェント：状況を見て考える必要がある業務向け

そう、そういう動きをする可能性はある。だからAIの出力には誤りが混ざる前提で、最後は人が確認するのが基本になるよ。



つまりチャットを消すと、そのチャットのやり取りは見返せなくなるけど、私についての要点がメモリとして残ることはある、ってことですね。



**現場を疑似体験できる**

ChatGPTの使いどころ・注意点・判断の順番を【現場の状況】としてストーリーで体感できる。

**再現できる型が身につく**

「よくある場面 → 失敗しやすいポイント → 改善の型」の流れで学び、理解にとどまらず明日から同じ場面で再現できる行動に落とし込める。

**他業務にも展開できる**

内容は汎用的に設計されているため、介護以外の業務にも適用可能。

■ 全14章構成

■ 標準学習時間：約12時間

■ 全動画 120日間見放題

1章	<b>生成AIの全体像（新人アシスタント視点）</b> ・生成AIを「指示が必要な新人」と捉え、得意領域（下書き・整理・要約）を理解する	8章	<b>音声入力で思考整理</b> ・声で未整理の情報を出し、要点整理と次の一手につなげる
2章	<b>「それっぽいのに間違う」理由</b> ・正しさは保証されない前提を学び、点検して仕上げる使い方を身につける	9章	<b>GPTsでクレーム対応を型化</b> ・感情受容→事実整理→再発防止までを、ロールプレイで反復できるようにする
3章	<b>ChatGPTの学習と記録の違い</b> ・パーソナライズ／メモリ／会話記録を整理し、設定で管理できるようにする	10章	<b>クイズで定着</b> ・クイズ作成・共有で復習を回し、使いながら育てる運用を学ぶ
4章	<b>基本操作と段取り</b> ・画面操作・履歴整理を押さえ、「たたき台→追加指示→仕上げ」の進め方を習得	11章	<b>マークダウンで出力安定</b> ・目的・前提・形式を構造化して渡し、抜け漏れ・ブレを減らす
5章	<b>画像活用</b> ・写真を起点に質問・加工等を行い、問いを立てて成果物につなげる	12章	<b>セキュリティ／著作権</b> ・プラン・設定の違いを理解し、安全に使う判断軸を持つ
6章	<b>PDF活用</b> ・PDFをアップして必要箇所を抽出し、「読む」から「質問して使う」へ転換する	13章	<b>習慣化①</b> ・忘却を前提に、日常で使い続ける仕組みを作る
7章	<b>資料作成のはじめ方</b> ・目的・ゴールを言語化し、下書きを整えながら進める型を身につける	14章	<b>習慣化②</b> ・出力を再編集し、AIと自分の役割分担を判断できるようにする

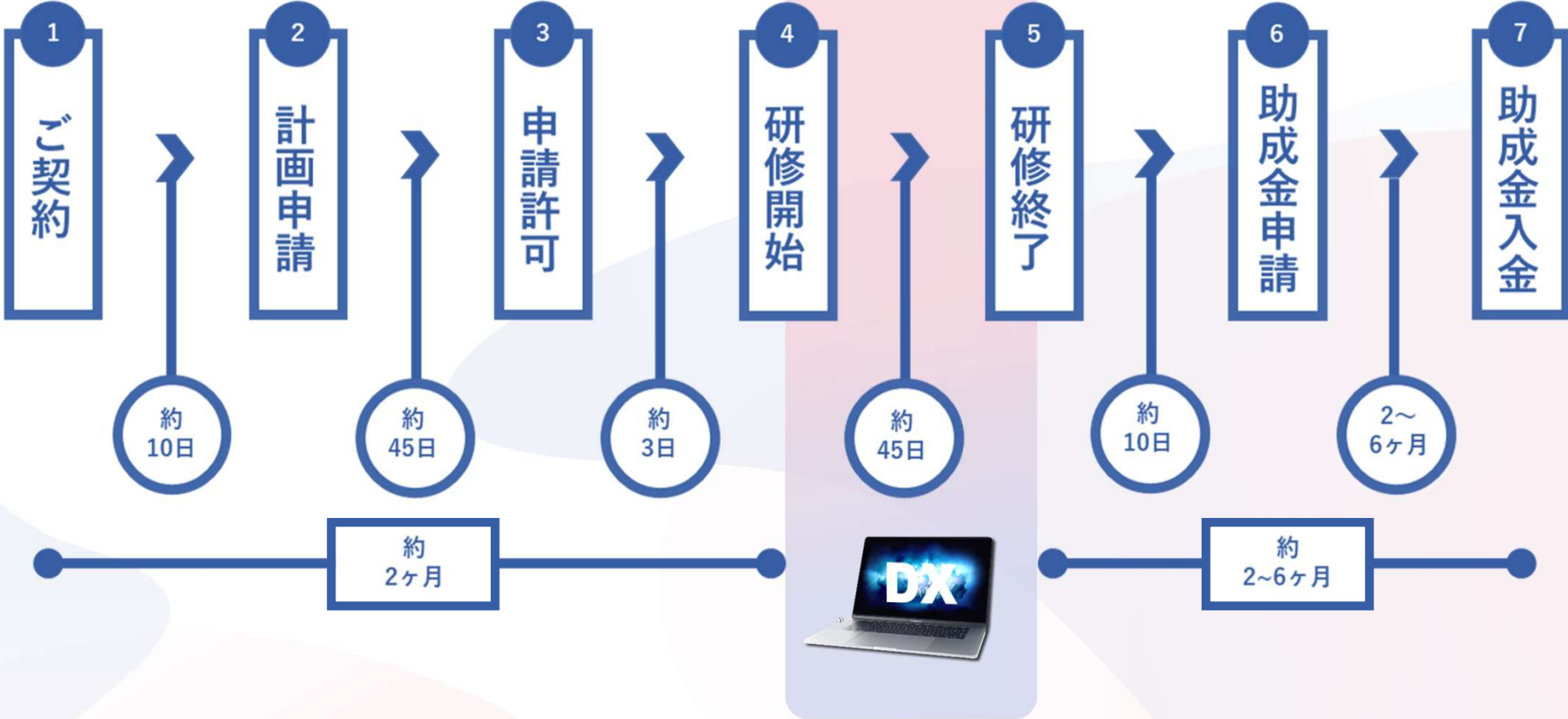
# 助成金の活用

## 厚生労働省「人材開発支援助成金-事業展開等リスクリング支援コース」の申請が可能



**「人材開発支援助成金」とは**  
事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費を助成する制度です。

# 助成金の流れについて





## sakurajuji

事業者名 株式会社桜十字ホールディングス  
所在地 東京都港区麻布台1丁目3-1麻布台ヒルズ森JPタワー27階  
お問い合わせ先 [sakurahd-learning@sakurajuji.jp](mailto:sakurahd-learning@sakurajuji.jp)  
03-6450-1697

